

鎌倉市職員採用案内 2022

KAMAKURA CITY



歴史あるまち

鎌倉は、日本における古代から中世への転換期に源頼朝公によって本格的な武家政権が初めて樹立され、それまでの貴族階級の統治に代わる新時代の幕開けの象徴となった歴史あるまちです。

幕府が置かれると同時にまちづくりも進み、現在にまで至る都市形成がほぼ完成を見る西暦1230年頃に鎌倉時代は最盛期に入り、このまちはあらゆる面で日

本の中心となりました。

また、現存する我が国最古の築港である和賀江島を通じて諸国との交易が盛んに行われ、新たな文化の息吹をもたらしてきたまちでもあります。

鎌倉は、今日でも中世の日本を支えた繁栄の歴史とこの地で花開いた文化を今に伝える魅力的なまちと言えます。



鎌倉市役所で活躍できる人

目標に向かって自ら歩むことができる人

常に高い志を持ち自主的に考え行動する

現状に安住しない開拓心のある人

日々のチャレンジで自ら成長し変革していく

**労を惜しまず、
常に謙虚で誠実な人**

責任感を持ち真剣に仕事に取り組む

**他人事ではなく、すべてを自分事として
捉えることができる人**

「誰かのために市民のために」相手の目線で物事を考える



時代を切り拓き、進化し続ける鎌倉のまち



市長メッセージ

鎌倉市は歴史と文化、豊かな自然にあふれた古都のまちです。その恵みを後世に受け継ぎつつ、時代を先取りした「新しいセンス」をまとっているのも鎌倉ならではの魅力といえるでしょう。

なかでも「鎌倉をもっと良くしよう」という市民の思いと、鎌倉の文化を発展向上させる市民活動は百年を超えて受け継がれてきました。時代に合った新たな挑戦がまちの発展に大きく貢献したことで、今ある豊かな鎌倉のまちがつけられました。

昨今は高校生など若い世代が中心となりNPO団体の立ち上げを行うなど、理想のまちづくりに向けた市民活動がより一層活発になってきました。そういった思いに寄り添い、サポートし、共に実現することが私達の役目でもあります。

コロナ禍を経て、時代を切り拓いていく力がますます問われています。誰もが安心して住み続けたいまちであるために、より進化したまちづくりを実現しなくてはなりません。そのための第一歩は「市民と行政とともに未来をつくっていく」この意識を皆で共有することです。そしてどんな災害も乗り越えられる力を持ち、常に時代の先を見据えたまちでありたいと思っています。

市役所の業務は多岐にわたりますが、どの仕事にも共通する点は「人の役に立つ」というやりがいを肌で感じられることです。人のために考え、行動し、実現する、この仕事ならではの喜びをぜひ味わってください。そして仕事を「楽しむ」ことで、豊かな人生を送ってほしいと願っています。

鎌倉市長

松尾 崇



鎌倉市の将来目標 文化・環境・健康などの幅広い視点から、様々な政策に取り組んでいます。

将来目標

1

人権を尊重し、人との
出会いを大切にすまち



すべての市民が、平和を大切にするとともに、一人一人の個性と人権をお互いに尊重する社会を目指します。また、国籍や文化の違いを理解し、支え合う共生社会を目指します。

- **平和**
 - ・市民に身近な場で平和について考える機会を提供します。
- **人権**
 - ・他者を思いやり、行動できるよう、市民の人権に関する理解を深めるとともに、人権に関する相談体制を充実します。
- **多文化共生社会**
 - ・外国籍市民への行政情報の提供や、学校教育の場での対応を充実します。

将来目標

2

歴史を継承し、
文化を創造するまち



鎌倉が世界に誇る歴史的・文化的な資産を守り、未来に引き継ぐとともに、これを生かしながら、新しい文化を創造し、全国や世界に発信するまちを目指します。

- **歴史環境**
 - ・貴重な文化財を未来に引き継ぐために、文化財指定や登録を進めるとともに、保管場所や専門的人材の確保に努めます。
 - ・豊富な文化財や歴史的遺産をつなぎ、鎌倉のまち全体を博物館（エコミュージアム）とすることを目指します。
- **文化**
 - ・市民が質の高い芸術にふれることができるよう、鎌倉の文化の研究と文化事業の充実を進めます。

将来目標

3

都市環境を
保全・創造するまち



鎌倉で暮らし、活動するすべての人々の協力のもと、豊かな自然や美しいまち並みなどの都市環境を守り、つくり、育て、地球環境に負荷をかけない、持続可能なまちを目指します。

- **みどり**
 - ・鎌倉市が所有する緑の効果的な活用とともに、市民の緑化推進活動の支援などにより、緑の質の充実を図ります。
- **都市景観**
 - ・歴史的な建物やまち並みなど地域の個性を生かした魅力的な景観づくりに取り組みます。
- **生活環境**
 - ・ライフスタイルの見直しや生産販売事業者への啓発を図り、3Rの取り組みを継続・強化します。

将来目標

4

健やかで
心豊かに暮らせるまち



鎌倉の次世代を担う子どもたちが健やかに育ち、生きる力を育み、自立できる環境づくりを進めます。また、多様性を認め、誰もが生涯にわたって元気で自分らしく、安心して住み続けられる地域を目指します。

- **健康福祉**
 - **青少年育成**
 - **子育て**
 - **生涯学習**
 - **学校教育**
 - **スポーツ・レクリエーション**
- ・市民が世代や背景を超えて地域でつながり、互いに「支え」、「支えられ」、誰もが役割と生きがいを持てる仕組みをつくります。
 - ・すべての子どもが健やかに成長できるように、子どもによって異なる課題に対応した支援を行います。

将来目標

5

安全で快適な
生活を送れるまち



防災や防犯、交通安全とともに、道路、下水など都市インフラの整備と適切な維持管理により、市民が安全で安心に生活できる環境をつくります。また、快適で活力のある都市空間の創造を目指します。

- **防災・安全**
 - **道路整備**
 - **市街地整備**
 - **住宅・住環境**
 - **総合交通**
 - **下水道・河川**
- ・自助・共助・公助の役割分担と連携により、総合的な災害対策に取り組みます。
 - ・市民等との協働による地域の個性や特色を生かした、市民が主役のまちづくりを進めます。

将来目標

6

活力ある
暮らしやすいまち



農業や漁業などの保護・育成とともに観光振興による地域活性化など、環境と調和した産業の活性化を目指します。また、市民の多様な働き方の支援、技能の奨励・継承とともに、消費者教育の推進により、活力ある暮らしやすいまちを目指します。

- **産業振興**
 - **観光**
 - **勤労者福祉**
 - **消費者対策**
- ・農業や漁業が安定的に営まれ、新たな担い手や後継者の育成・確保につながる支援を行うとともに、農産物の鎌倉ブランドの認知度向上や水産物のブランド化に取り組みます。
 - ・新たな観光資源を発掘し、その魅力を情報発信することで、観光客の長時間の滞在を促進し、観光消費の拡大を通じた地域の活性化に取り組みます。

【DATA】

令和2年
(2020年)版
「鎌倉の統計」より

- 人口：172,948人
- 世帯数：75,859世帯
- 総面積：39.67km²
- 年間延べ観光客数：約1,902万人（令和元年）
- 国宝・国指定文化財：216件

財政力指数：1.08(全国47位)

(令和元年度全市町村の主要財政指標)

リサイクル率：52.1% 人口10万人以上の市の中で
全国1位(令和元年度一般廃棄物の排出
及び処理状況等に関する調査(環境省))

未来の私



先輩職員
紹介

これからの鎌倉市を私たちと一緒に作りませんか？何事にも前向きにチャレンジする人を鎌倉市は求めています。私たちの職場に新しい風を吹き込んでください！



西村 拓海

Nishimura Takumi
(2020年入庁)

納税課 事務職

日々学び、自分を高めていける環境

風光明媚な古都・鎌倉をより住みやすく、一人でも多くの方に「住みたい」と思ってもらえるようなまちづくりに貢献したい、そんな思いから鎌倉市を志望しました。現在配属されている納税課では、市税を中心とした債権の管理業務を行っています。市民の皆様からお預かりする市税などの管理には大きな責任を伴う一方で、様々な行政サービスを提供するための基盤となる財源の管理という観点で市政を支えているというやりがいと誇りを感じています。

この業務はとりわけ公平公正な事務執行が求められていることから、法律などの専門知識をしっかりと身に付ける必要がありますが、日々学ぶ姿勢を持ち続け、自分自身を高めながら業務に取り組むよう心掛けています。また、仕事を進める上ではチームワークが重要ですが、納税課は課題解決に向けて力を合わせて乗り越えていくために、お互いに意見を言い合い尊重する風土があります。

今後の目標は、経験とスキルを積み増し、専門知識の理解もさらに深め、より適切でスムーズな債権管理業務を行うことです。また、将来的には担当内のリーダーとして職場を牽引していく存在になりたいと思っています。

ある1日のスケジュール

- 08:30 ● 始業・朝礼・メールチェック
- 09:00 ● 債権管理事務起案作成
- 10:00 ● 市民の方の相談対応
- 12:00 ● 休憩
- 13:00 ● 課内打ち合わせ
- 15:00 ● 市内臨戸訪問
- 17:15 ● 終業

Interview
with
senior



Q. ワークライフバランスは？

A. お互い協力し合える同僚にも恵まれ、仕事終わりにフットサルでリフレッシュしたり、土日はサーフィンを楽しんだり、仕事だけでなくプライベートも有意義に過ごしています。



Message

どの業務も責任とやりがいを感じられる職場です。先輩職員も親切に指導してくれるので毎日楽しく仕事に励むことができます。ぜひ私たちと一緒にがんばりましょう！



永原 梨紗 Nagahara Risa (2020年入庁)

市民健康課 事務職

市民の健やかな暮らしをサポート

豊かな自然と伝統・文化が息づく魅力あるまち鎌倉で「行政の視点で市民に幅広く関わりたい」と思い鎌倉市役所を志望しました。所属している市民健康課には保健師や助産師のような専門職を含め総勢90名が在籍しており、チームワークも良く活気にあふれた職場です。業務は多岐にわたりますが、私は市民が必要とする時期に適切に予防接種を受けられるようにするために医療機関との連絡調整や対象となる方への周知を担当しています。周知に際しては、様々な法令やルールを正確に、分かりやすく簡潔にお伝えすることを念頭に、相手の立場に立って物事を考え、お話にじっくり耳を傾けながらサポートを行うよう心掛けています。市民の方と直接お話をする中で、「お役に立てた」と実感できるのが市の職員ならではのやりがいを感じる瞬間です。「ありがとう」と感謝のお言葉をいただいたときや、笑顔でお帰りになられたときに、仕事の充実感を覚えます。

ある1日のスケジュール

- 08:30 ● 始業・朝礼・メールチェック
- 09:00 ● 予防接種実施に向けた課内調整
- 10:00 ● 医療機関との打ち合わせ
- 12:00 ● 休憩
- 13:00 ● 契約書類作成
- 14:00 ● 予防接種周知資料の作成
- 15:00 ● 窓口・市民対応
- 17:15 ● 終業

Interview with senior



Q. これからの目標は？

A. 今までの経験を財産に、今後はより豊富な知識と経験を身につけ、それらを生かし市民や職場に還元できる職員になりたいです。そして鎌倉市民の健康づくりにさらに貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。



Message

市役所の仕事は多種多様ありますが、その全てがまちづくりに関わるやりがいあふれた仕事です。鎌倉が好きの方、是非一緒に働きましょう！



久山 雄大 Kuyama Yudai (2013年入庁)

教育総務課 事務職 主事

子どもたちの笑顔が日々の原動力

現在、教育委員会の教育総務課で市立の小中学校と外部機関の連携事業に関する企画・調整業務と教育委員会が所管する事業の広報業務を担当しています。学校や子どもたちのニーズをくみ取り、それに応えるために形に変えていく、そのためにはできる限り学校に足を運び、現場をよく知る教員とのコミュニケーションとともに自分自身が肌で現場を感じながら、要望に最大限応えられるよう努力しています。進んでいる方向が間違っていないか、教員の負担にはなっていないかなど、悩み、試行錯誤の連続ですが、その結果として子どもたちの明るい笑顔があふれる様子を見るにつけ、喜びはひとしおです。職場環境は特に人間関係に恵まれ、終了後にスポーツをすることや休日にはアウトドアを楽しむなど、同期・同僚とともにプライベートも楽しい時間を過ごすことができ、充実した生活を送ることができています。将来は、職種や所属を問うことなく、各部署の架け橋となるような頼れる存在として周囲から認められるようになりたいと思っています。

ある1日のスケジュール

- 08:30 ● 始業・朝礼
- 09:00 ● クラウドファンディングに関する打ち合わせ
- 10:00 ● 学校のICT推進に関する打ち合わせ
- 12:00 ● 休憩
- 13:00 ● 外部連携事業視察(市立中学校)
- 16:00 ● 市立小学校とのオンライン会議
- 17:15 ● 終業

Interview with senior



Q. 主事として仕事をする上で心掛けていることは？

A. 培ってきた経験や職種を越え築いてきた人脈を最大限に活かし「少しでも多くの方の力になりたい」という気持ちを大事に仕事に取り組んでいます。



Message

入庁すると一言では語れないほど多彩な仕事 awaits 待ち受けています。「何でもやってみたい!」という気概のある方、自分のアイデアやクリエイティビティをまちづくりに発揮したいという方、ぜひ鎌倉市役所で一緒に働きましょう！



市原 幸祐 Ichihara Kosuke (2020年入庁)

建築指導課 建築職

豊かなまちの未来のために貢献したい

主に建築計画が法律に適合しているかを審査する業務を担当しています。職場は明るい雰囲気先輩方にも相談しやすい環境だと感じています。窓口では、市民の方だけでなく事業者の方とも多く接していますが、相手の立場や理解度に応じ、理解の先の納得まで行き届く丁寧な説明を心掛けています。その結果としていただくことができる感謝のお言葉がなによりも励みとなり、また、仕事の充実感を高めてくれます。

市の職員の働き方の良いところは、仕事の日と休日が明確に分かれているためメリハリのある生活ができることです。私自身、オンはしっかりと仕事に集中し、オフは趣味に没頭することで自分らしい日々を過ごしています。今後の目標は、業務の確実性と迅速さを向上させながら、仕事の幅も広げて自分自身も成長していくことです。また、より働きやすい職場環境にしていくために、自ら発案・発信していける職員を目指していきたいと思っています。

ある1日のスケジュール

- 08:30 ● 始業・朝礼
- 09:00 ● 建築審査会
- 11:00 ● 審査業務
- 12:00 ● 休憩
- 13:00 ● 市内現場確認・検査
- 16:00 ● 建築基準法改正勉強会
- 17:15 ● 終業

Interview with senior



Q. 鎌倉市役所への志望動機は？

A. 自然豊かな環境と、歴史ある建築物やまち並みが大切に受け継がれているまち。その魅力あるまちづくりに「建築」を通じて貢献したいと考え、鎌倉市を志望しました。



Message

建築職を希望される方々、市民のために働くやりがいを感じながら、私たちと一緒に鎌倉市をより魅力的なまちにしていきたいです！



伊藤 まや Ito Maya (2020年入庁)

下水道河川課 土木職

やりがいと自分の成長を実感する日々

市民や地域社会に貢献できるステージである市役所で、社会インフラの整備計画の立案や、公共工事の施工・監理に携わりたいと考え鎌倉市を志望しました。配属されている下水道河川課では、河川の護岸等の維持管理や洪水浸水想定区域図作成業務、市民からいただく御要望への対応の他、台風や大雨の際は市内のパトロールも行います。

土木職として働くには様々な専門知識のほか、実地での経験も必要とされます。加えて、法令などの各種規程にも適合させながらの資料作成は簡単ではないことも多くありますが、経験豊富な先輩職員の的確な指導のもと、「常に学び、吸収する」そんな意識をもって仕事に取り組んでいます。

職場の雰囲気はとても温かく、いつでも気軽に質問ができる優しい先輩方が日々の努力に気づき、成果を認めてくださるので、業務をやり遂げた際は達成感と充実感に満たされます。

今後の目標は、まず一人前の土木職として独り立ちをすること。そして、吸収した知識や経験をもとに自分からも意見を述べながら、周囲の信頼も得て安心して仕事を任せてもらえる職員を目指し、一步一步着実に前進していきたいです。

ある1日のスケジュール

- 08:30 ● 始業・朝礼
- 09:00 ● 現場図面の確認
- 10:00 ● 現場で河川護岸の確認
- 12:00 ● 休憩
- 13:00 ● 護岸工事発注業務
- 14:00 ● 業者との打ち合わせ
- 16:00 ● 関係課調整会議資料の作成
- 17:15 ● 終業

Interview with senior



Q. 仕事のやりがいとは？

A. 様々な経験で知識が身に付き、その知識が自分の糧として新たな仕事に活かされた瞬間にやりがいを感じます。また市民の方から直接感謝の言葉をいただいたときに大きな喜びを感じます。



Message

職場は雰囲気も良く、産休、育休、時短勤務などの制度が整い働きやすい環境です。先輩方が丁寧にイチから仕事を教えてくれるので、安心して一緒に働きましょう！

係長・課長級へのインタビュー

大河ドラマ
担当
担当係長



この仕事ならではの喜びと充実感

門田 楽子 Kadota Rakuko (2008年入庁)

所属している大河ドラマ担当は、2022年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送に向けて立ち上げた協議会の事務局を担っています。また、関係団体との連絡調整、契約事務、観光客向けの周遊コースの開発、大河ドラマ館の開設準備から運営まで、業務は多岐に渡ります。前例がないこの仕事は、小さなことでもイチから考える必要があるため苦労もありますが、課の枠組みを超えて職員一丸となって事業の成功を目標に仕事に励んでいます。

市役所の仕事の魅力は、自分の「こんなことをやってみたい」というアイデアや意見を事業に反映できることです。また、育児をしながら働き続けられる環境が整っていることも大きな特長で、産休・育休に入る際に同僚や上司が温かく送り出してくれたことに今でも感謝しています。これからも、今まで積み上げてきた経験を活かし、鎌倉ならではの歴史や自然を活かしたまちづくりに深く関わり、貢献していきたいと思っています。

Q. 係長として仕事をする上で心掛けていることは？

A. 研修で学んだ「係長は良きプレイングマネージャーでなければいけない」という言葉を胸に、周りの職員が今何をしているか把握し、課全体が一体となり業務が進められるよう心掛けています。

主な経歴 2008年～健康福祉部市民健康課
2012年～文化財部文化財課
2013年～世界遺産登録推進担当
2014年～歴史まちづくり推進担当
2019年～市民生活部商工課
2021年～市民防災部大河ドラマ担当

財政課
課長



「市民のため」を皆で共有し成長する

吉田 寛樹 Yoshida Hiroki (2001年入庁)

所属している財政課は、市の予算の編成や執行管理を始め、事業を進めるための資金繰りなど、市の健全な財政運営を担っている部署です。私は課長としてそれらの業務全般のマネジメントや所属している職員の労務管理などを行っています。市の予算について、庁内の意見・要望を集約し、様々な議論と調整を経て予算案をまとめ上げ、市議会において御承認いただきそれを執行段階に移し適正に管理していく道りは決して楽なものではありません。それでも、自分たちの地道な努力が結果として「市民のためになる」ことをモチベーションとして課員と共有することで、やり遂げた際の達成感はより大きく感じ、さらに前進する推進力が生まれます。忙しい日々ではありますが、プライベートではランニングでリフレッシュするなど、自分らしくワークライフバランスを整えながら充実した生活を送っています。今後は、今まで培ってきた経験を後輩に還元し、仕事を通じて得られるやりがいを多くの職員に感じてもらい、職場全体でさらに成長していけるような職場づくりに取り組んでいきたいと思っています。

主な経歴 2001年～総務部市民税課
2004年～企画部秘書課
2009年～都市整備部都市整備総務課
2013年～総務部財政課
2016年～総務部財政課担当係長
2018年～課長補佐
2019年～課長



Message

これからも、より活気あふれる鎌倉市役所であるために、若い皆さんの力が必要です。世界に誇れる鎌倉を目指し、まちの未来に向け一緒に働けることをとても楽しみにしています。

人財育成

職（階層）に応じて、職務の遂行に必要な研修を実施しています

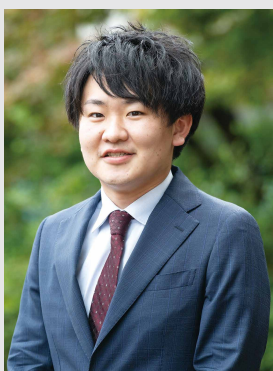
【鎌倉市役所研修体系図】

	能力					意欲
	知識・技術	業務遂行能力	人間関係力	政策形成能力	管理能力	取組姿勢
1級	新採用職員研修(年4回)					新採用職員研修(年4回)
	公務員2年目研修					公務員2年目研修
2級	実務基本研修		メンタリング研修(年2回) ※メンター職員		メンタリング研修(年2回) ※メンター職員	市民協働研修
			接遇能力向上研修			キャリア研修
			論理的思考育成研修			
3級 主事級	メンタル研修		メンタリング研修(年2回) ※メンター職員		メンタリング研修(年2回) ※メンター職員	コンプライアンス研修
			政策形成研修			
	行政課題研修		不当要求行為等防止研修			
		育成力研修			育成力研修	
4級 係長級	4級職員の心得					4級職員の心得
	健康管理研修		マネジメント(係長級)研修		マネジメント(係長級)研修	
			問題解決能力向上研修		人事評価研修	
			メンタル研修		メンタル研修	
			説明・調整力研修			
5級 課長補佐級	5級職員の心得				マネジメント(課長補佐級)研修	5級職員の心得
			マネジメント(課長補佐級)研修			経営戦略研修
6級 課長級	6級職員の心得					6級職員の心得
			コミュニケーション研修		コミュニケーション研修	
			マネジメント(課長級)研修		マネジメント(課長級)研修	
7級 次長級			組織分析研修		組織分析研修	
	7級職員の心得				マネジメント(次長級)研修	7級職員の心得

今後変更になる可能性があります

メンター制度とは

新採用職員（以下「メンティー」という。）が職場に定着できるよう、メンティー1人に対し、メンティーのサポートをする同じ職場の先輩職員（以下「メンター」という。）1人を指名しています。メンターとメンティーと一緒に研修に参加したり、お互いがより知り合うきっかけをつくるために定期的な面談の場を設けるなど、メンティーが気軽に相談できる環境を整えています。都市計画課の2人にインタビューしてみました。



柳下 勝太郎 Yanagishita Syotaro (2018年入庁) メンター

お互いに何でも話せる信頼関係を大切に

日頃心掛けていることは、仕事、個人的なことに関わらず、自分から腹を割ってメンティーと話すことです。そうすることでお互い今のような良好な関係が築けているのではないかと思います。

私とメンティーは年齢が近いこともあり、自分が困ったときにも相談できる弟のような存在です。終業後には一緒にスポーツ観戦に行ったこともあります。

市民の方と出会う機会が多く「色々な考えにふれながら、一緒に解決していくことは市職員の仕事ならではの。」メンティーには日々の出会いを大切に、そして楽しみながら仕事に励んでほしいと思います。

メンティーに向けて一言！「頑張る時は頑張る」「休む時は休む」オンオフを大事に頑張ろう！

水谷 司 Mizutani Tsukasa (2021年入庁) メンティー

成長を身近で支えてくれる安心感

メンター制度は多くの知識や経験を持つ先輩が、業務はもちろんコミュニケーションを通し、自立的な成長をサポートして下さるので色々得るものが多いです。身近に気兼ねなく相談できる人がいるため、前向きに仕事に取り組むことができます。相談事にも優しく向き合ってくれるメンターは、私にとって知識・精神両面においてとても頼れる存在です。

今後は豊富な知識や経験を身に付け、業務や鎌倉市に還元できる職員へと成長していきたいです。そのため、多くの方との関わりや多様な視点・意見を大切にスキルアップに努めたいと思います。

あなたのメンティーはどんな人ですか？ とても頼れる存在！趣味が多くプライベートも楽しんでいる方です。

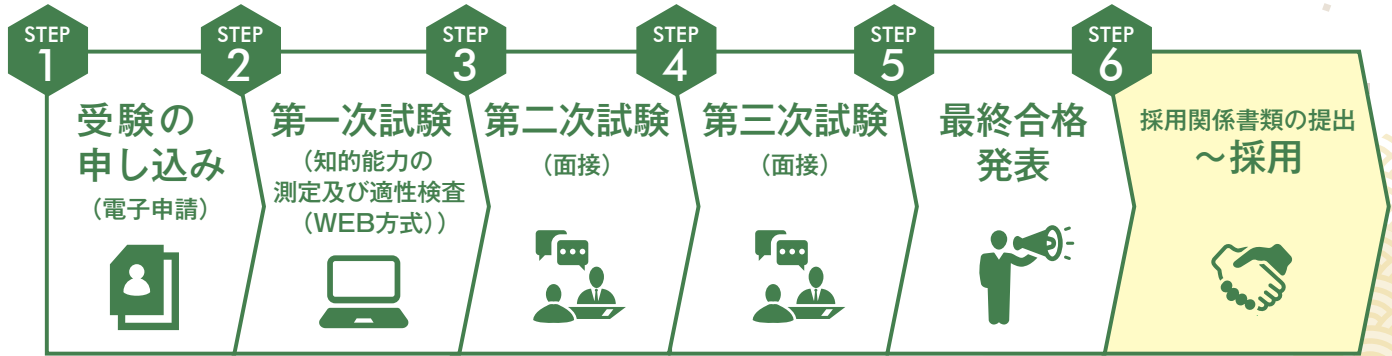


鎌倉市行政組織図兼機能図



申し込みから採用までの流れ

※各試験項目は変更となる場合があります



最新の試験情報等は下記のQRコードから確認してください。

市のホームページからダウンロード



職員などの募集ページ

鎌倉市職員課公式ツイッター



アカウントURL

鎌倉市職員課の公式アカウントです。職員の採用試験など、職員課からのお知らせや最新情報を発信します。

はたらく環境

勤務条件

■勤務時間と休日

職場により異なる場合があります

8:30~17:15 (休憩12:00~13:00) 実働7時間45分です。休日は、土、日、祝日、年末年始 (12月29日~1月3日) です。

■休暇制度

有給休暇:1年に20日 (翌年への繰越可) その他、夏季休暇、結婚休暇、療養休暇などの特別休暇があります。

給料と手当

初任給 **221,100** 円 (地域手当を含む。大学新卒の例)

昇給 年1回

賞与 期末・勤勉手当 年2回 (6月・12月) 支給

諸手当 通勤方法、住まいや家族の状況、勤務実績に応じて、通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当などを支給します。

数字で見るデータ

年休取得率68.0% : 13.6日/年 (令和2年度)

育児休業を取得する男性職員の割合 : 33.3% (令和2年度)

障害者雇用率 : 2.93% (令和3年6月1日現在)

仕事・子育て 両立支援

女性	・妊娠に伴う検診休暇 ・産前産後休暇	(※1) 子どもの3歳の誕生日の前日まで取得可能。育児休業中は無給ですが条件により最長2歳まで育児休業手当の支給があります。
男性	・出産補助休暇 ・育児参加休暇	(※2) 子どもの3歳の誕生日の前日まで取得可能 (有給休暇) 1日当たり30分×2回 (または1時間×1回) の休暇が取得できます。
共通	・育児休業 (※1) ・育児時間 (※2) ・部分休業 (※3) ・子の看護休暇 (※4)	(※3) 小学校就学前まで取得可能。1日2時間まで取得できます。ただし取得した時間分は無給となります。 (※4) 満12歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子を職員が実際に看護する場合に、1暦年につき7日 (子が2人以上いる場合は10日) 取得可能

福利厚生

健康保険 神奈川県市町村職員共済組合

福利厚生事業 人間ドック助成、映画・宿泊・レクリエーション施設利用等の助成

神奈川県市町村職員共済組合における給付事業・貸付事業・貯金事業など

■クラブ活動

体育系 空手、サッカー、野球など17部

文化系 園芸、写真、茶道など7部



お問い合わせ

鎌倉市総務部職員課 人財育成担当

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

☎ 0467-23-3000 (代表) 内線2232・2234

✉ syokuin@city.kamakura.kanagawa.jp

このパンフレットは、感染症対策を行ったうえで作成しています

